

山行報告書

受 付 No.	107	登山地・ルート	黒部五郎岳
目 的	夏山トレーニング&高山植物を楽しむ		
メンバー	大山、岡本真		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム
7・19・土	晴れ	浜松＝新穂高P～鏡平～稜線～双六小屋 6:50 12:34 14:23 15:45
7・20・日	曇/雨	双六小屋～双六岳～三俣蓮華岳～黒部五郎小舎～黒部五郎岳～三俣蓮華岳～双六小屋 4:16 5:40 7:19 8:35 11:07 15:16 17:16
7・21・月	晴れ	双六小屋～樺沢岳～千丈沢乗越～槍平～穂高平～新穂高P＝浜松 6:15 6:59 10:32 12:38 15:43 16:55

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

【新穂高P～鏡平】仮眠を取り、朝起きると駐車場は満車になっていた。夜は使えたトイレが使えなくなっていた。快晴の空の下、左俣林道を鏡平へと向かう。あまりの暑さに早くも少々ばて気味…。鏡平では槍穂連峰にはガスがかかり、池に映る姿は見ることができなかった。

【鏡平～双六小屋】稜線に上がるトラバース道に雪が残る。稜線に出てからは何度か雪田を横切る。ガスっている中を歩くと広大な雪田に思えるが、ガスが薄まると、そうでもないことに気づく。傾斜もなく、危険ではない。お花畑がそこかしこに広がる。小屋が見えてからが長かった。

【双六小屋～三俣蓮華岳】2日目は朝からガスっていた。稜線への直登コースには急な雪渓が残っているとのことで、中道への案内があり、途中から春道を登って稜線へと出た。この途中で雨が本降りになる。広い稜線を歩き双六岳の山頂へ。ガス&雨の中でも素敵な稜線なので、晴れていればさぞ…と思うが仕方ない。三俣蓮華岳の山頂付近は風があり、少し下で休憩を取る。

【三俣蓮華岳～黒部五郎岳～双六小屋】左右の斜面には雪が残り、所どころ雪を踏んで歩く。黒部五郎小舎手前は岩のごろごろした急な下りで、帰りのことを思うとげっそりする。黒部五郎小舎は一度泊まってみたいと思わせる素晴らしい立地にあった。そこから緩やかに登って五郎のカールに出る。ガスが薄くなってカールを見渡せることができた。スバラシィッ！カールを横切り、急登をひと登りで肩に出て、分岐に荷物をデポ、山頂をピストンして戻る。カールの底へ下りると、再びガスが晴れて青空がのぞく。もときた道を戻り、双六小屋へ。この間、雨は降ったり止んだり。この晩の食事は、真理子さんは体調不良で食べることができず…。

【双六小屋～千丈沢乗越～新穂高P】ひと晩休んで真理子さんの体調も回復。朝ラーメンもしっかり食べることができた。朝方はガスっていたものの、日が昇るにつれてガスはみるみる上がり、樺沢岳に至る頃には槍穂連峰もきれいに見ることができた。千丈沢乗越までの稜線にはところどころ雪渓はあったものの、今回、アイゼン・ピッケルは歩荷するだけで終わった。槍平からの道のり（特に、滝谷避難小屋～白出沢）は、本当に長かった。

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者	
-----	----	----	----	---	---	---	-----	--



わさび平小屋の売り物たち



黒部五郎小舎



鏡池より上、稜線へ登るトラバース道



五郎のカール



稜線上的お花畑(花見平)



西鎌尾根と槍ヶ岳